

APPLIC 会員 各位

APPLIC 事務局
相互接続確認イベント事務局

2019 年度 APPLIC 主催「相互接続確認イベント（第 16 期）」 参加募集について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

APPLIC 標準推進委員会 準拠確認及び相互接続性検証検討タスクフォース(TF)では、「地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続確認仕様」に基づく、第 16 期の相互接続確認イベント（2020 年 1 月末～2 月初）を開催いたします。

今回の相互接続確認イベントの対象標準バージョン、製品カテゴリは、以下となります。

◎対象標準バージョン：

地域情報プラットフォーム標準仕様書： APPLIC-0002-2018、APPLIC-0002-2019

◎製品カテゴリ

サービス基盤製品、自治体業務アプリケーションユニット製品、GIS ユニット製品、GIS 共通サービス利用機能を備える製品、教育情報アプリケーションユニット製品（小中学校版、高等学校版）、避難行動要支援者名簿管理ユニット製品、被災者台帳管理ユニット製品、避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対し情報提供できる製品

なお、今回の相互接続確認イベントへの参加条件は、以下を満たす団体としております。

◎参加条件：

- 条件 1：APPLIC 普通会員（普通会員登録予定を含む）メンバであり、準拠確認及び相互接続性検討タスクフォース（TF）に参加登録していること（★1）
- 条件 2：イベント実施の前までに、準拠確認及び相互接続性検討 TF の下に設置される相互接続確認イベント会議に参加すること（★2）
- 条件 3：イベント実施の前までに、対象標準バージョンへ対応した製品の準拠登録を完了していること（★3）
- 条件 4：地域情報プラットフォーム準拠確認および相互接続確認仕様 V3.4 に記載の PF 相互接続確認仕様で規定したテスト環境を準備できること
- 条件 5：イベントに係るプロセス（準備、実施時等）において知り得た情報については、本イベント内の利用に限ることとし、責任をもって取り扱いできること
- 条件 6：APPLIC による相互接続確認成功のプレスリリースに、企業名を記載するための社内確認が取れること

※上記、条件 1～6 をすべて満たすことを相互接続確認イベント参加条件とします。

（★1）準拠確認及び相互接続性検討 TF への出席を推奨としますが、必須ではありません。

なお、賛助会員から普通会員に変更される場合、年会費が異なります点にご留意ください。

（★2）相互接続確認イベント会議には、必ず一名以上の参加を必須とします。

（★3）準拠登録済み製品にバージョンアップが発生した場合、新しく準拠登録を行う必要があります。準拠登録されている指定バージョンの製品が、イベント時に持ち込まれた相互接続確認の対象製品であるかをイベント開催時に確認いたします。

また、今回の相互接続確認イベントの開催条件は、以下の通りとさせていただきます。

サービス基盤製品、自治体業務アプリケーションユニット製品、GIS ユニット製品、GIS 共通サービス利用機能を備える製品、教育情報アプリケーションユニット製品においては、製品カテゴリ毎に 3 団体以上の参加申し込みがあること

避難行動要支援者名簿管理ユニット製品、被災者台帳管理ユニット製品、避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対し情報提供できる製品においては、避難行動要支援者名簿管理ユニット製品または被災者台帳管理ユニット製品で合わせて 2 団体以上が参加し、かつ、避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対して情報提供できる製品で同じ種類の情報をエクスポートできる製品で 2 団体以上の参加申し込みがあること

参加を希望される団体様は、前頁の参加条件と次頁以降に掲載する計画、留意事項およびテスト範囲をご確認いただき、添付の「APPLIC 2019 年度相互接続確認イベント第 16 期 参加申込書」に記入の上、参加のお申し込みをお願いいたします。

なお、その際、添付のアンケートにご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

また、第 16 期の相互接続確認イベントの第 1 回会議を、12 月 17 日(火) 午後開催を予定しております。参加登録いただいた団体様の担当者へ、開催案内を別途送付いたします。

参加のお申し込みは、11 月 29 日(金) 12:00 までをお願いいたします。

回答先: (第 16 期) 相互接続確認イベント事務局 宛

メールアドレス: itevent2019-jimu@applic.or.jp

上記メールアドレスへ参加のご連絡を頂いた場合、相互接続確認イベント事務局（準拠確認及び相互接続性検討 TF リーダが担当）から、参加受付の連絡を回答いたします。

2019 年度 APPLIC 主催「相互接続確認イベント（第 16 期）」の計画

◎日程：

- ・ 11 月 19 日(火) 午後 説明会(初参加の団体/担当者の希望者) (*1)
- ・ 11 月 29 日(金) 12:00 募集締め切り (*2)
- ・ 12 月 6 日(金) 17:00 頃 開催条件確定のご案内(*3)
- ・ 12 月 17 日(火) 午後 第 1 回相互接続確認イベント会議(*4)
- ・ 1 月 16 日(木) 午後 第 2 回相互接続確認イベント会議(*4)
- ・ 1 月 29 日(水)、30 日(木)、31 日(金) 相互接続確認イベント本番(*5)
- ・ 2 月 5 日(水)、6 日(木)、7 日(金) 相互接続確認イベント予備日(*5)
- ・ 2 月 10 日(月) 午後 14:00-15:30 成果報告会
- ・ 2 月 10 日(月) 頃 APPLIC 成功申請

(*1) 詳細は、「2019 年度 相互接続確認イベント説明会 募集案内」をご参照ください。

(*2) 募集締め切りの 11 月 29 日 12:00 時点で開催条件を満たす団体数に満たない製品カテゴリについては、1 週間の間、標準推進委員会配下の WG や TF を通して参加を呼びかけて、調整を行います。

(*3) 募集締め切り後の調整を経て、開催条件を確定し、第 1 回イベント会議の開催案内をメールにて送付いたします。開催条件を満たさない製品カテゴリでの参加申し込み団体には、不成立のご案内をメールにて送付いたします。

(*4) イベント会議では参加団体間の調整を行うため、相互接続を実際に担当される方の参加を必須とします。また、参加人数が多い場合は、製品カテゴリ別に二部構成とすることを想定しています。実際の時間帯は、開催案内をご確認ください。

(*5) 相互接続確認イベント本番として予定している日程のいずれかで基本的にすべての相互接続確認を実施し、予備日としている日程では、実施しきれない相互接続確認他を実施することを想定しております。具体的な計画は会議にて調整します。

留意事項

- 1) インターネット上のクラウドで提供される製品で参加される場合は、イベント本番では、インターネット接続できる接続先を用意してもらうこと、もしくは相当の回避策が必要となります。
- 2) イベント参加団体が主体となり、分担して作成いただきたい資料があります。分担の内容については、第1回相互接続確認イベント会議にて、参加団体間で調整していただきます。
 - 2-1) サンプルデータ
 - 2-2) 相互接続確認の実施手順書
- 3) 次頁以降に掲載しているテスト範囲のうち、L1-業務1, L1-業務2, L2-業務1, L2-業務2の実施において、サービス基盤製品のうちで統合DB製品、および自治体業務アプリケーションユニット製品については、相互接続確認を行う際に、他の自治体業務アプリケーションユニット製品のインタフェースを呼び出すことをお願いすることがあります。
- 4) 次頁以降に掲載しているテスト範囲のうち、L2-業務2の実施において、イベント本番における相互接続確認の組合せや作業時間の都合により、統合DB製品のすべてのインタフェースについて相互接続確認を行えない場合があります。この場合、相互接続確認の成功の扱いは限定つきとなります。【ご参考】過去実績：最大3ユニット、7インタフェース
- 5) 地域情報プラットフォーム標準仕様書 APPLIC-0002-2019 の教育情報アプリケーションユニット標準仕様「校務基本情報データ連携 小中学校版」については、V2.0 を対象としますので、製品の対応状況をご確認ください。なお、特に V1.2 で準拠登録されている製品の相互接続確認をご希望の場合は、地域情報プラットフォーム標準仕様書 APPLIC-0002-2018 をご指定ください。

◎テスト範囲：2019 年 11 月、準拠確認及び相互接続性検討タスクフォースにて承認された
以下の相互接続確認テストモデル（1/2）

サービス基盤製品	
L1-IT1	PF 通信機能を別の PF 通信機能が呼び出すテスト
L1-IT2	統合 DB 機能を PF 通信機能が呼び出すテスト
L1-IT3	BPM 機能を PF 通信機能(BPM 機能呼び出し役)が呼び出すテスト
自治体業務アプリケーションユニット製品	
L1-業務 1	提供側自治体業務アプリケーションユニットを PF 通信機能(各種製品)が呼び出すテスト
L1-業務 2	統合 DB 機能を利用側自治体業務アプリケーションユニットが呼び出すテスト
L1-業務 3	BPM 機能から PF 通信機能(自治体業務アプリケーション(GIS)ユニット製品内)を呼び出すテスト
GIS ユニット製品	
L1-業務 4-2	GIS 共通サービス利用機能から GIS ユニット製品のインタフェースを呼び出す (簡易な接続確認に相当するレベル)
L1-業務 4-3	GIS ユニット同士のデータ交換
教育情報アプリケーションユニット製品	
L1-業務 5-1	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版 製品間、同種の業務 ユニット間、でデータ交換を行う
L1-業務 5-2	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 高等学校版 製品間、同種の業務 ユニット間、でデータ交換を行う
GIS-防災・業務システム連携製品	
L1-業務 7-1	GIS-防災・業務システム連携製品間のファイル形式のインタフェースを利用したデータ交換 (エクスポート側:最低 1 種類のファイル形式を団体の異なる 2 製品以上とデータ交換) (インポート側:団体の異なる 2 製品以上とデータ交換(ファイル形式は同一のもの。))

◎テスト範囲：2019 年 11 月、準拠確認及び相互接続性検討タスクフォースにて承認された
以下の相互接続確認テストモデル（2/2）

サービス基盤製品	
L2-IT1	PF 通信機能を別の PF 通信機能が呼び出すテスト(SSL、添付ファイル)
L2-IT3	BPM 機能を PF 通信機能(BPM 機能呼び出し役)が複雑に呼び出すテスト
自治体業務アプリケーションユニット製品アプリケーション	
L2-業務 1	提供側自治体業務アプリケーションユニットの全インタフェースをゼロ件呼び出しも含め呼び出すテスト
L2-業務 2	統合 DB がサポートしている自治体業務アプリケーションユニットの全インタフェースをゼロ件呼び出しも含め呼び出すテスト
GIS ユニット製品	
L2-業務 4-2	GIS 共通サービス利用機能から GIS ユニットのインタフェースを呼び出す (必須、及び準拠登録の全 IF) <input type="checkbox"/> 地名辞典サービス(登録、更新、削除含む) <input type="checkbox"/> 地図表示サービス【準拠登録している全IF】
教育情報アプリケーションユニット製品	
L2-業務 5-1	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版 製品間、同種の業務ユニット間、で複数種類のデータのデータ交換を行う(複数種類のうちにはなんらかの異常を含むデータも対象とする)
教育情報アプリケーションユニット製品と自治体業務アプリケーションユニット「20.就学」製品	
L2-業務 6	自治体業務アプリケーションユニット、「20.就学」と教育情報アプリケーションユニット、「AK01,学習者情報」間でデータ交換を行うテスト

以上